

島根県立大の教員ら 廃案求める声明発表

安保関連法案で

島根県立大浜田キャンパス(浜田市野原町)の教員有志3人が3日、浜田市殿町の市役所で、参院で審議中の安全保障関連法案の廃案を求める声明を発表した。同大が開学以来、中国や朝鮮半島などを含む北東アジア地域の研究に注力していることから、声明で「法案は北東アジア地域に新たな分断を持ち込むもの

で、承服できない」と訴えた。

声明文は、憲法が専門の岡本寛講師(39)ら同キャンパスの教員6人が呼び掛け人となって作成した。法案を明白な憲法違反と指摘し、北東アジア地域の大学などの学術・教育交流を進め、平和を志向してきた立場から、衆院での強行採決による法案可決に抗議し、廃案を求めている。

Bら計32人が賛同した。浜田キャンパスでは、呼び掛け人6人を含めると、常勤教員全49人の約半数の24人が加わった。声明文を読み上げた岡本講師は「先人たちの立憲主義確立への努力をないがしろにするもの」と強く批判した。声明文は近く、衆参両院議長、島根県と県内19市町村の議会の議長宛てに送付するほか、7月上旬に同様の声明を発表した島根大の有志と連携した活動も模索している。(吉川健治)

平成 27 年 8 月 4 日付け・山陰中央新報

海士の風力発電施設 色彩に配慮求める

県景観審が答申

県景観審議会(会長・藤岡大抽県立大短期大学部名誉教授、14人)は7日、海士町で計画されている風力発電施設についての答申書を県に提出した。事業者に対し、景観を著しく損ねることにならないよう、色彩に配慮を求めた内容。松江市殿町の県庁で藤岡会長から答申書を受けた県の富樫篤英土木部長は、建設地が隠岐世界ジオパーク内にあることを踏まえ「できるだけ、目立たない色が



富樫篤英土木部長(左)に答申書を手渡す藤岡大抽会長

望ましい」と話した。

施設は、中国電力子会社のエネルギー・ソリューションズが、高さ121メートルの1基を計画。2016年度の運転開始を目指している。

(森安哲史)

平成 27 年 8 月 8 日付け・山陰中央新報



0歳8か月のころ 塩毛 エリカ



松江市立中央図書館内「おはなしコーナー」で毎週水曜日に開かれている「おはなしの会」。入り口付近には育児書やわらべ歌を集めた「子育てコーナー」が新設された。

年齢やテーマ別に絵本セット

松江市立図書館ではこの春から、年齢・テーマ別の絵本をセットにして貸し出すサービス「こそだてえんむすびぶく」を始めた。主に未就学児が対象で、中でも乳幼児向けのセットが好評だという。同館事務局図書館係長の犬島憲美さん(44)、司書の小豆沙織さん(21)に話を聞いた。



「こそだてえんむすびぶく」のセット。図もオリジナル



「2〜3歳向けのセットは人気。今日は借りられてよかった」と利用書読み

松江市立図書館

「こそだてえんむすびぶく」は、0歳〜5歳ごろの子どもの向けに、年代テーマ別に図書館司書が選んだ絵本もオリジナルとして接ぎ出し出す。貸し出しは、今年3月末から個人向けにスタートした。発案した犬島さん自身も子育て中で、

「子どもと図書館に来てもゆくり遊ぶ時間がない。でもせうかくならい本を読んであげたい」という思いが後押しした。

「させこ」など、15テーマの絵本を、島根県や、読み聞かせボランティアが推薦する絵本リストを参考に、小

豆さんから児童担当の司書が日ごろ子どもたちに人気のものを選んだ。松島さん「『いないいないばあ』や、『アイスクリームナ

こそだてえんむすびぶくが好評



小豆沙織さん 犬島憲美さん



図書の利用や、絵本の読み聞かせ、絵本遊びのアイデアなども盛り込まれている



「子どもと図書館に来てもゆくり遊ぶ時間がない。でもせうかくならい本を読んであげたい」という思いが後押しした。

「子どもと図書館に来てもゆくり遊ぶ時間がない。でもせうかくならい本を読んであげたい」という思いが後押しした。

「子どもと図書館に来てもゆくり遊ぶ時間がない。でもせうかくならい本を読んであげたい」という思いが後押しした。

「子どもと図書館に来てもゆくり遊ぶ時間がない。でもせうかくならい本を読んであげたい」という思いが後押しした。

「子どもと図書館に来てもゆくり遊ぶ時間がない。でもせうかくならい本を読んであげたい」という思いが後押しした。

「子どもと図書館に来てもゆくり遊ぶ時間がない。でもせうかくならい本を読んであげたい」という思いが後押しした。

「子どもと図書館に来てもゆくり遊ぶ時間がない。でもせうかくならい本を読んであげたい」という思いが後押しした。

「子どもと図書館に来てもゆくり遊ぶ時間がない。でもせうかくならい本を読んであげたい」という思いが後押しした。



「音のレストラン」の
チラシ

絵本の読み聞かせと生演奏を一緒に楽しめる親子向けコンサート「音のレストラン」が9月2日午前11時半から鳥取県三朝町三朝の三朝バイオリン美術館で、同27日午前11時から松江市浜乃木7丁目の鳥根県立大短期大学部おはなしレストランライブラリーでそれぞれ開かれる。入場無料。

読み手は、鳥取大付属小学校で絵本の授業を行っている天野佳代子さんが担い、三朝バイオリン

親子向けコンサート

音のレストラン

松江で来月27日公演 三朝では
2日開催

美術館の音楽監督・生原幸太さん（ピオラ）と仙田真帆さん（ピアノ、三朝会場のみ）が演奏する。

公演時間は30分間。両会場のプログラムは異なり、読み聞かせる作品や演奏曲目は当日発表する。

企画、作曲を手掛けた鳥根県立大短期大学部の梶間奈保講師は「絵本と音楽の面白さを体で感じ、楽しい時間を過ごして、もっと好きになってほしい」と呼び掛けている。

問い合わせは梶間講師、電話0852(20)0265。またはメール(n-kajima@matsue.u-shimane.ac.jp)で。